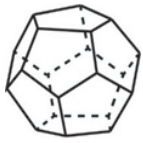


正十二面体と正二十面体

五角形ベースの立体 2種類 (プラトン立体の続き)



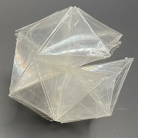
(4)『正十二面体』

- ・正五角形ベース × 12 枚
- ・表面だけが「正五角形」でできている
- ・「正四面体」で作れない



(5)『正二十面体』

- ・正三角形ベース × 20 枚
- ・表面だけが「正三角形」でできている
- ※「正四面体」ではない「正三角錐」

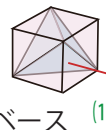


※「正四面体」で
作ると割れる

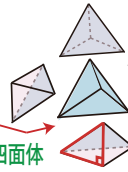
1月と2月のオンライン講座で説明済み

- (1) 済：正四面体 (正三角錐)・・・三角形ベース
- (2) 済：正六面体 (立方体)・・・四角形ベース
- (3) 済：正八面体 (ピラミッドの上下)・・・三角形ベース

(2) 正六面体



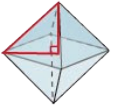
(1) 正四面体



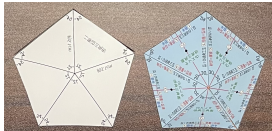
(直角正三角錐 × 4 個)
ピラミッド型

(3) 正八面体

(直角正三角錐 × 8 個)
ピラミッドの上下



【2種類の正五角形の比較】底面は同じ正五角形でも、平面の二等辺三角形と高さのある正三角形がある
(高さのある5枚の正三角形は、正二十面体の一部になる)



正五角形 / 5枚の正三角形

【真上から見たもの】
同じサイズの正五角形



正五角形 / 5枚の正三角形

【真横から見たもの】
高さの違い＝空間の違い

【正十二面体の1辺は、正三角形の1辺と同じ長さではない (綿棒ワークで作れない)】

(正三角形の1辺では無い)



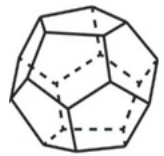
正二十面体の
周囲に正四面体を接着



正四面体の頂点
5個ずつをつなぐ



表面が五角形の
正十二面体になる



『宇宙の秘密を知りたければ、エネルギー、周波数、振動の観点から考えなさい』 =ニコラ・テスラ=
「すべての物質は特定の周波数で振動するエネルギーである」

最初に極小の振動が起こり、一定の振動数 (周波数) で固定されることによりどんな物質になるかが決まる
エネルギー = プランク定数 × 振動数 ($E = h\nu$)

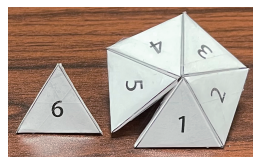
プランク定数は、想像できない位に小さいが、これがあるので物質は粒の性質を持つ (飛び飛び量子力学)
『タレスの直角三角形メソッド』では、正四面体を円盤型にした時にできる隙間ではないかと思っている



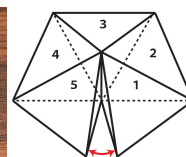
正三角形を連ねると
平面の『三角格子』



6個の正四面体の裏は
「底面」正三角形



正四面体を円盤状に連ねると「5個と隙間」ができる
隙間があるので『振動』することができる!?



『振動源』と『波紋』

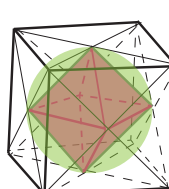


『波紋』は『振動源』から
外に向かって広がる



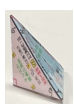
6個の正四面体を
真上から見ると
『麻の葉模様』

『振動源』と『光源』

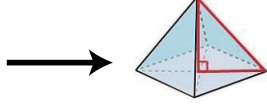


『振動源』の「正八面体」の中心は
『光源』のように四方八方に広がっていく

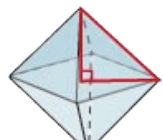
『タレスの直角三角形メソッド』の最大の発見は
=== 『直角正三角錐』 ===



直角正三角錐

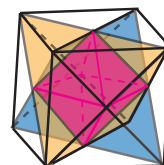


ピラミッド型
直角正三角錐 × 4 個



正八面体
直角正三角錐 × 8 個

正八面体は、
8個の直角正三角錐の
直角が合わさってできている



星型八面体 (マカバ)
中央に「正八面体」がある

検索：タレスの直角三角形メソッド
<https://triangularem3.com>

